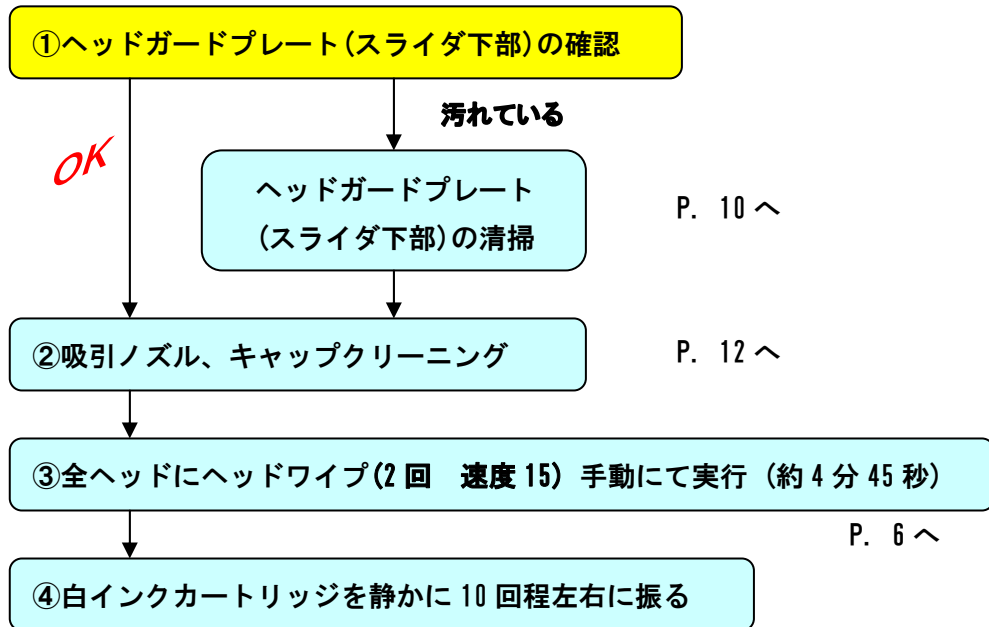




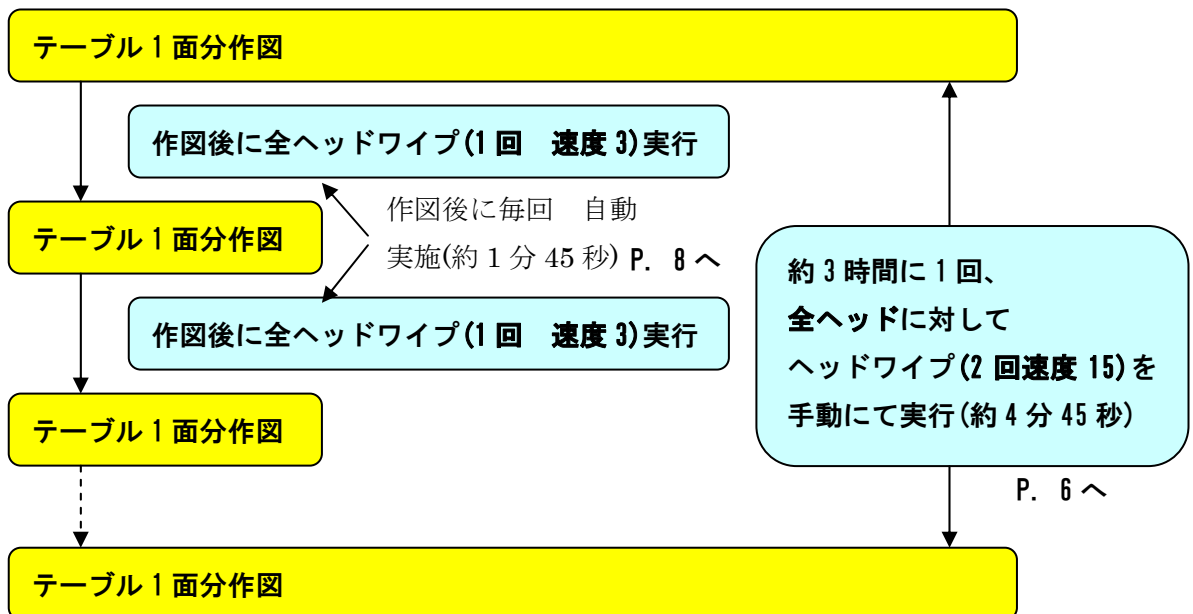
日常のお手入れ”こんなときは・・・”

マシンの不具合を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスを行ってください。

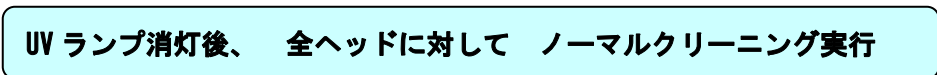
一日の作業開始前に



作業の途中でのお手入れ

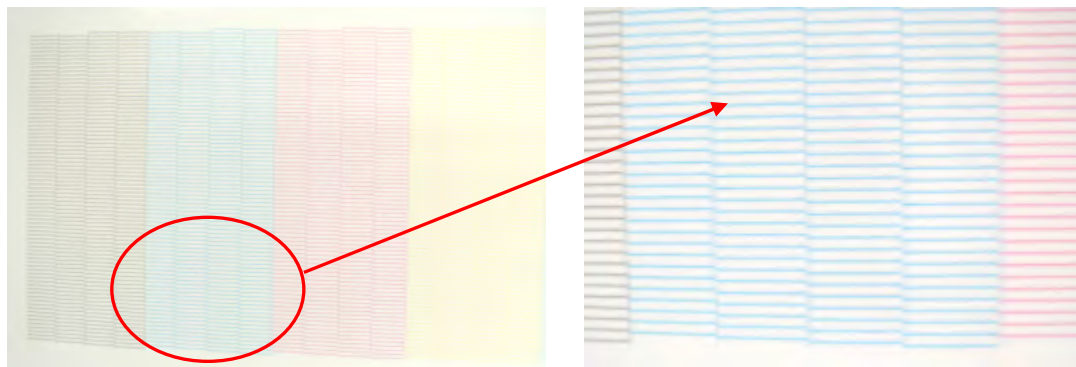


休日前の作業終了時に



①テスト作図不良（ノズル抜け、飛行曲がり等）

テスト作図を印字した際に正常なパターンでないことがあります。
画質に影響しますので、メンテナンスを行ってください。



正常なパターン

通常は、線どうしが一定の間隔で乱れることなくパターンが印字されます。

ドカ抜け

パターンが非常に多く抜けることがあります。



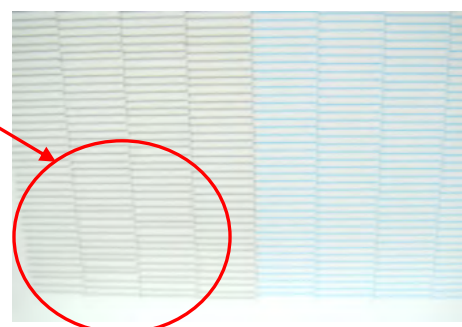
ノズル抜け

パターンが歯抜けしたように欠けることがあります。



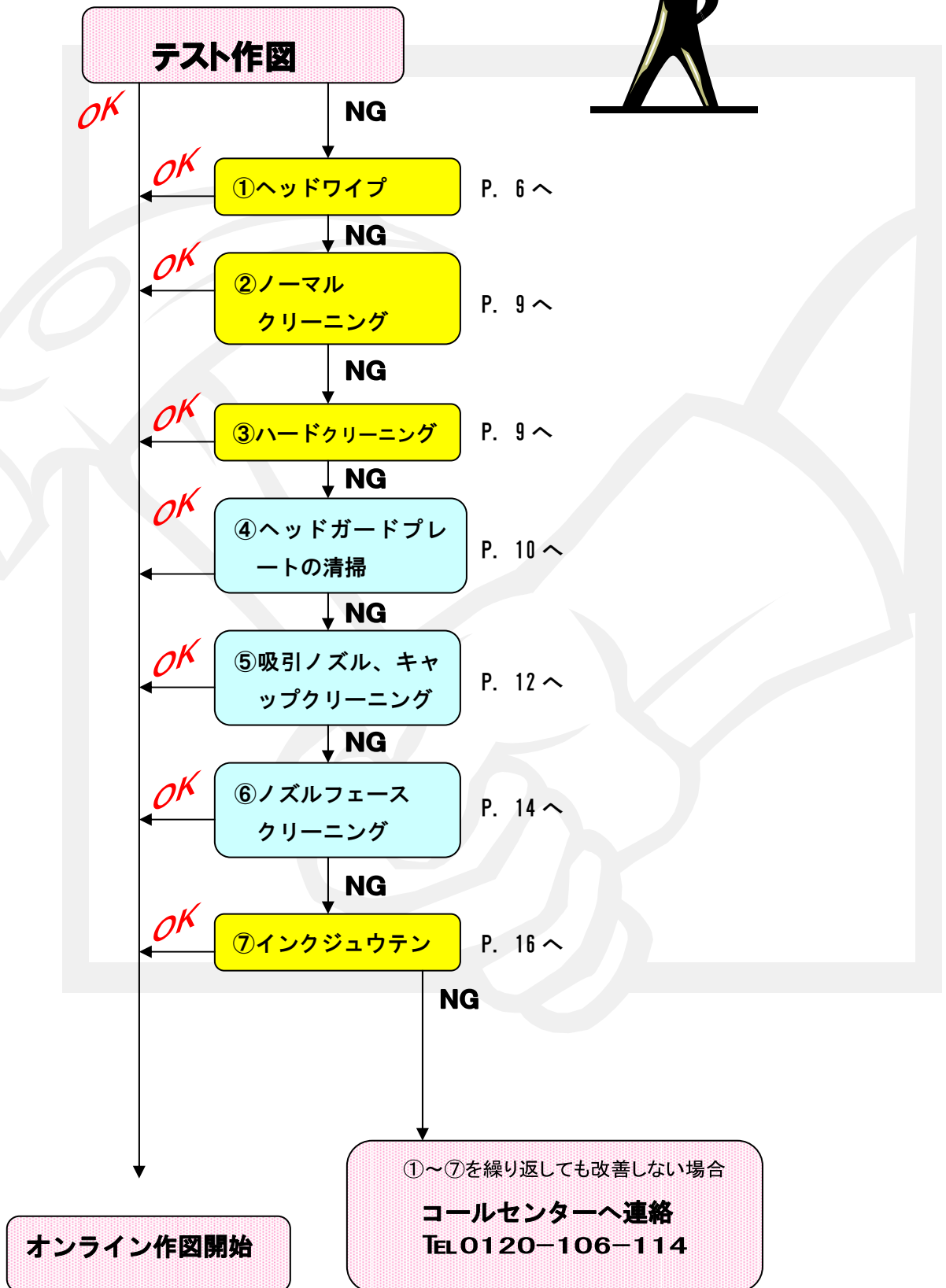
飛行曲がり

線と線の間が詰まったり、
2重になったりすることがあります。



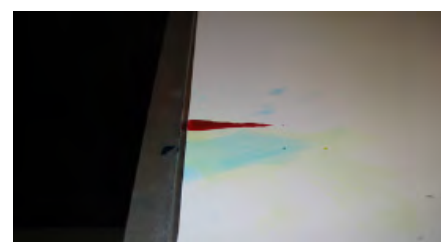
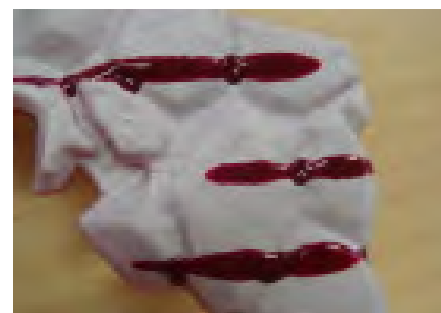
メンテナンスの流れは次ページへ↓

メンテナンスの流れ



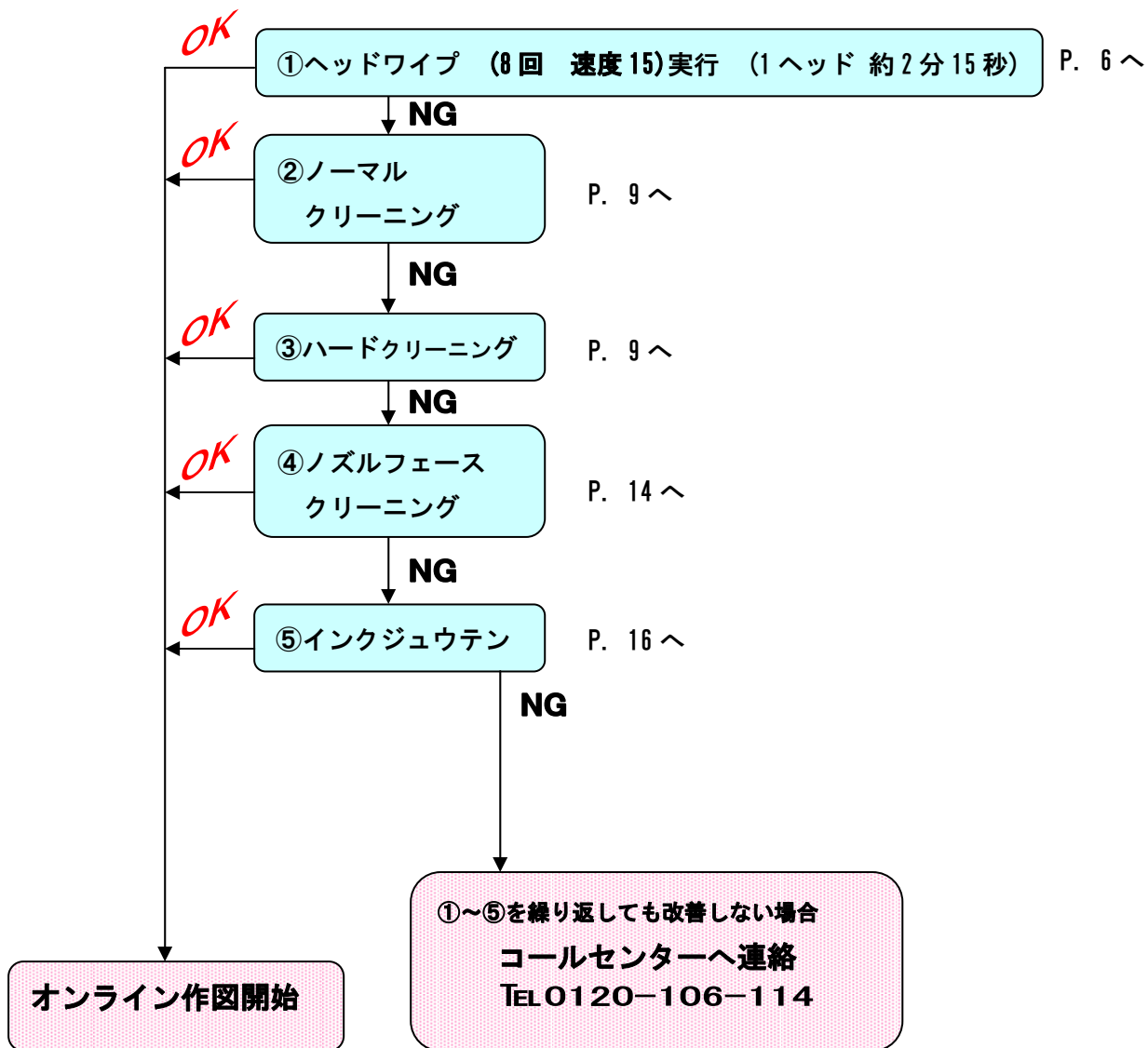
② ボタ落ち

ワークやテーブル上にインク滴が落ちて印刷物を汚してしまふことがあります。(下図)



③ 作図結果にスジが見られる

テスト作図では正常でも、作図結果にスジが見られる場合があります。
その場合、以下のメンテナンスを行ってください。



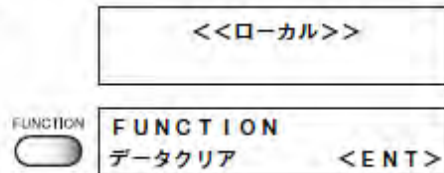
ヘッドワイプ実行方法

ノズル面のクリーニング

ヘッドのノズル面に、作図によるインク滴が発生したり、インク滴のポタ落ちによりメディアを汚した場合に実行してください。

操作手順

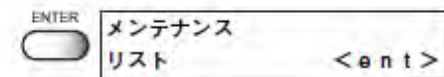
1. ローカルモードから、[FUNCTION] キーを押します。



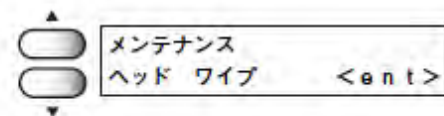
2. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、[メンテナンス]を選びます。



3. [ENTER] キーを押します。



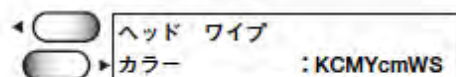
4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ヘッド ワイプ]を選びます。



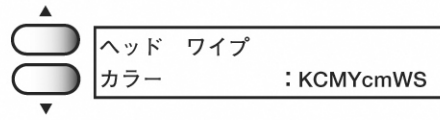
5. [ENTER] キーを押します。



6. ジョグキー【◀】または【▶】を押し、インク滴が付着しているヘッドを選択します。



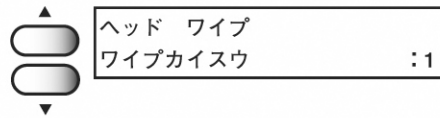
7. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、ワイプのオン/オフ表示します。
OFF表示は-となります。



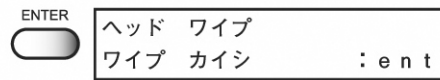
8. 【ENTER】キーを押します。



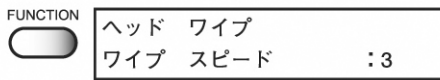
9. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ワイピングの回数1～9回を選びます。



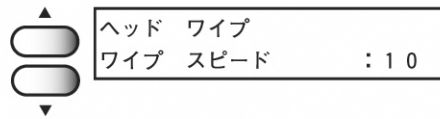
10. 【ENTER】キーを押します。



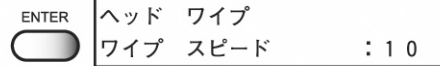
11. 【FUNCTION】キーを押すと、ワイパーのスピードを設定することができます。
ジョグキー【▲】または【▼】を押して、スピードを0～15を選びます。



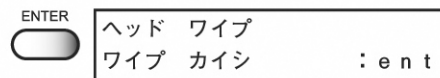
【FUNCTION】キーを押さずに【ENTER】キーを押すと、手順14のワイピングを開始します。



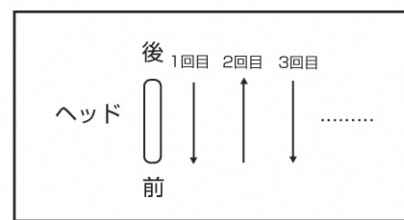
12. 【ENTER】キーを押します。



13. 【ENTER】キーを押します。



14. ワイピングが開始されます。



吸引の動作

ノズル面にインク滴が付着するのを防ぐ [ティキワイピング]

ヘッドのノズル面に作図によりインク滴が付着する場合があります。
本機能は、設定された回数分印刷した後、次の印刷を開始する前にヘッド面のワイプを行い、ヘッド面に付着したインク滴を取り除きます。

操作手順

1. メンテナンス項目の[ティキ ワイピング]を選択します。(⇒P.5-2)

メンテナンス
ティキ ワイピング < e n t >

2. [ENTER] キーを押します。

ENTER
ティキ ワイピング
インサツ カイスウ : OFF

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、印刷回数を指定します。(OFF, 1 ~ 99 回)

▲
ティキ ワイピング
インサツ カイスウ : 10
▼



- 「インサツカイスウ」の初期値は、OFF です。使用状況に応じて設定値を変更してください。
- 定期ワイピングをしない場合は、OFF にします。

4. [ENTER] キーを押します。



- OFF にした場合は、手順 8 に進みます。

ENTER

5. ジョグキー【◀】または【▶】を押して、ワイプするヘッドを選択します。

◀ ▶
ティキ ワイピング
カラー : K C M Y c m W S

6. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ワイプのオン、オフを選択します。
オフの表示は「*」です。

▲
ティキ ワイピング
カラー : * C M Y c m W S
▼

7. [ENTER] キーを押します。

ENTER
メンテナンス
ティキ ワイピング < e n t >

8. [END] キーを 2 回押して、ローカルモードに戻します。

END
<<ローカル>>

クリーニング

飛行曲がりやノズル抜け等、テスト作図が正常に印字されない場合、画質の低下につながる恐れがあります。以下のメンテナンスを行ってください。

ノーマルクリーニング

パターンに抜けが見られる時に
行ってください。

ハードクリーニング

強力クリーニングです。
ノーマルで改善されない場合に
行ってください。

クリーニングの実行

1. 【CLEANING】キーを押します。
2. ジョグキー【◀】または【▶】を押し、クリーニングを実行するヘッドを選択します。
3. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、クリーニングを実行するヘッドを表示します。クリーニングを実行しない場合は「*」にしてください。
4. 【ENTER】キーを押します。
5. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、クリーニングタイプを選択します。
6. 【ENTER】キーを押します。
7. 【ENTER】キーを押して、クリーニングを開始します。
- 8 クリーニングが終了すると、ローカルモードになります。
9. 作図原点が自動的に更新されるので、再度テスト作図を実行し、作図結果を確認します。作図結果が正常になるまで、<クリーニング→テスト作図>を繰り返します。

CLEANING	クリーニング カラー : K C M Y c m W
◀	クリーニング カラー : K C M Y c m W
▶	クリーニング カラー : K * * Y * * *
▲	クリーニング タイプ : ノーマル
▼	クリーニング タイプ : ハード
ENTER	クリーニング クリーニング カイシ : e n t
ENTER	**クリーニング** **** -----
	<<ローカル>>

ヘッドガードプレートの清掃 -印字の前後に-

ヘッドギャップとワークの静電気によって、インクのみスト発生量が異なります。
多量に発生したみストがヘッドとヘッドの間(ヘッドガードプレート)に溜まるとインク滴のポタ落ちが起こります。
印刷開始前、印刷終了後に定期的にヘッド間の清掃を行ってください。

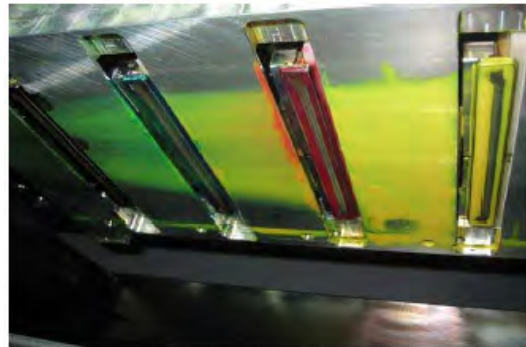


図 1-1 インクみストの蓄積

☆印字対象物:ポリカーボネイト上, 6時間連続稼動



- ★ UV 照射器具電源を切り、十分に冷えてから作業を行ってください
- ★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
- ★ 水・アルコール・アセトンなどは使用しないでください。
必ず専用のメンテナンス洗浄液を使用します。

清掃に必要なもの : 清掃棒 (SPC-0386)、メンテナンス洗浄液 (SPC-0385)、手袋、
保護メガネ



清掃棒外観

作業手順

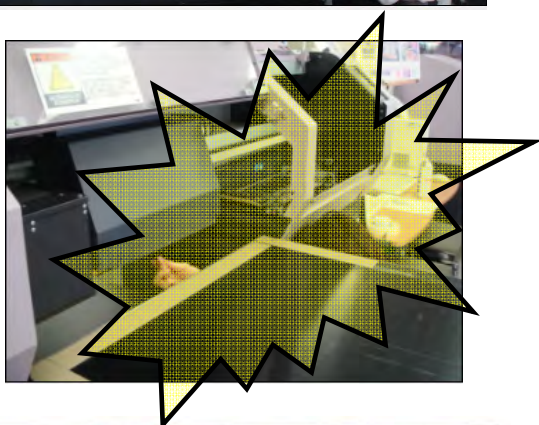


★UV 照射器具電源を切り、十分に冷えてから作業を行ってください
★清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

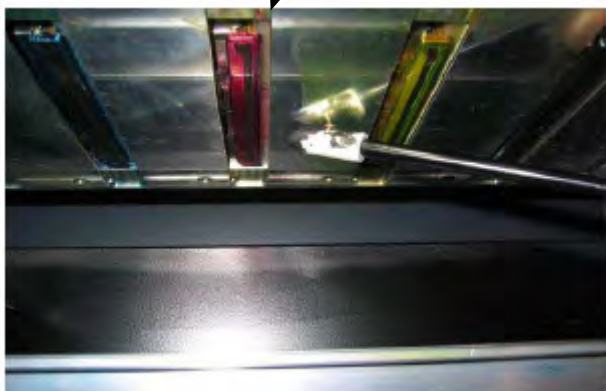
《UJF-605C/UJF-605CII の場合》



1. JOG キーにてテーブルを最下点に移動。テーブル降下後、ステーションメンテでキャリッジアウトさせ、テーブルを手前に出します。



テーブルの下から手を入れる形になります。
頭をテーブルにぶつけないよう注意してください。



2. メンテナンス洗浄液を含んだ清掃棒でヘッドとヘッドの間を拭き取ります。

清掃終了後、正面カバーを閉め、Enter キーを押します。

吸引ノズル、キャップのクリーニング

清掃に必要なもの : 清掃棒 (SPC-0386)、メンテナンス洗浄液 (SPC-0385)
手袋、保護メガネ

汚れた吸引ノズルの例



★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

ステーション内部の洗浄

1. ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

<<ローカル>>

FUNCTION



FUNCTION

データクリア

<ENT>

2. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



FUNCTION

メンテナンス

<ENT>

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER



メンテナンス

リスト

<ent>

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。



メンテナンス

ステーション

メンテ

<ent>

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER



ステーション

メンテ

キャリッジ

アウト

:ent

6 【ENTER】キーを押します。
キャリッジが移動します。

ENTER



7. 右側のメンテナンスカバーを開けます。



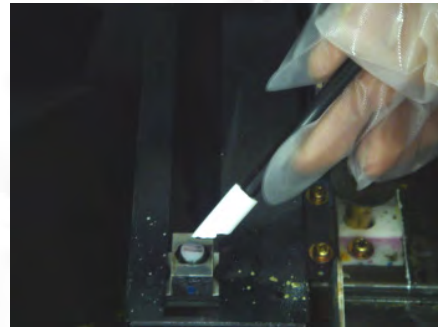
8. メンテナンス用洗浄液を含ませた専用の清掃棒で吸引ノズルのよごれを取り除きます。



★ 吸引ノズルはていねいにクリーニングしてください。



- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 専用の清掃棒をお求めの場合は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



9. キャップのゴムや、吸引ノズルカバーの内側に付着したインク等を専用の清掃棒で拭き取ります。



10. メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。



ステーション メンテ
シュウリョウ :ent

シバラク オマチクダサイ

<<ローカル>>

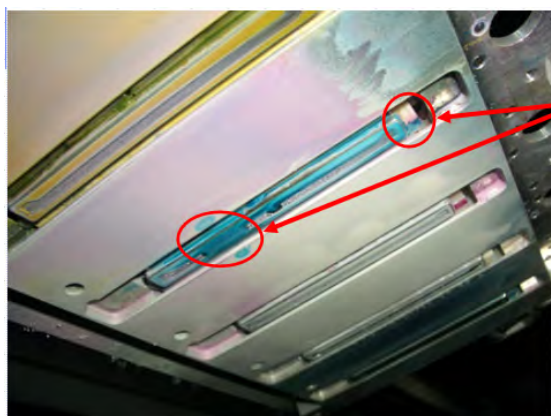
ノズルフェースのクリーニング

清掃に必要なもの : ノズルスワブ (SPC-0421)、メンテナンス洗浄液 (SPC-0385)
手袋、保護メガネ

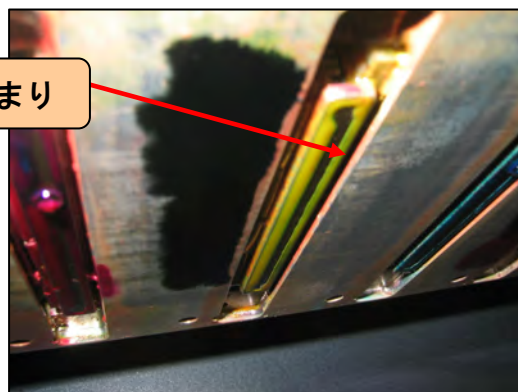
作図品質を保つ為の定期メンテナンス

作図を長時間行うとノズルフェース面にインクがつき画質が低下し、カスレ・文字欠け等の原因となりますので、定期的にノズルフェース面をクリーニングしてください。

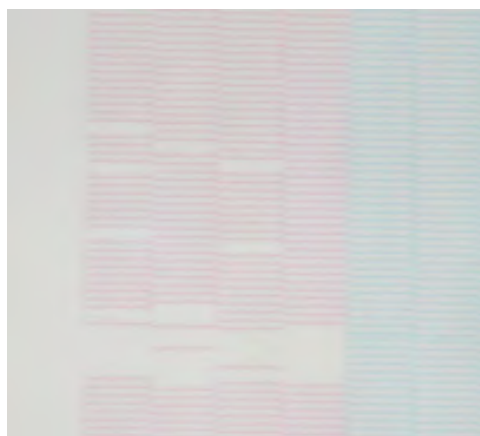
ヘッドワイプの実行。または、定期ワイプの設定をお勧めします。
ノズルスワブによる清掃は、ヘッドを傷める場合がありますので、
必要最小限としてください。



ミスト溜まり



ノズルスワブ外観



画質不良時のテストパターン

作業手順

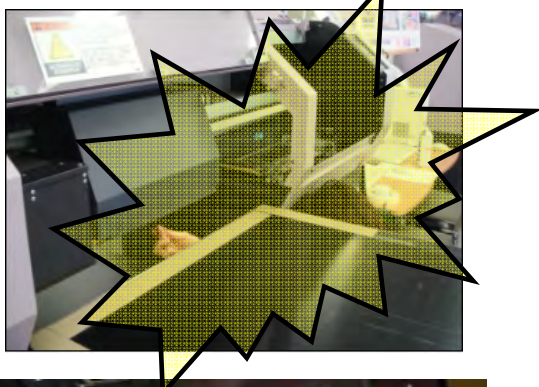


- ★UV 照射器具電源を切り、十分に冷えてから作業を行ってください
- ★清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

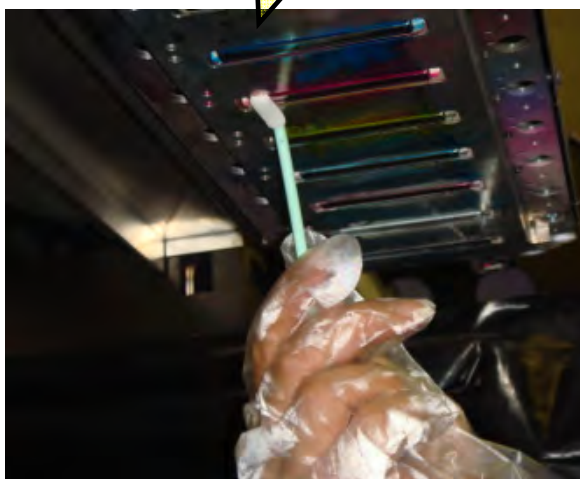
《UJF-605C/UJF-605CII の場合》



3. JOG キーにてテーブルを最下点に移動。テーブル降下後、ステーションメンテでキャリッジアウトさせ、テーブルを手前に出します。



テーブルの下から手を入れる形になります。
頭をテーブルにぶつけないよう注意してください。



4. メンテナンス洗淨液を含んだノズルスワブで撫でる様に 力をいれずに表面のインクを拭き取ります。この時、必ず片方向で拭き取ってください。



一度拭き取ったノズルスワブの汚れた部分は、使用しないでください。ノズルスワブに付着したゴミやホコリにより、ノズル面を傷つける原因になります。

清掃終了後、正面カバーを閉め、ENTER キーを押します。


初期動作完了後、ノズルチェックを行い、ノズル抜けの発生しているヘッドに対して、メインパネルのクリーニングキーにより、**ノーマルクリーニング**を行います。



インクジュウテン



操作手順


1. メンテナンス項目の[インクジュウテン]を選択します。


メンテナンス	
インクジュウテン	<ent>
2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	インクジュウテン
	カラー : KCMYcmW
3. ジョグキー【◀】または【▶】を押し、インクを充填するヘッドを選択します。


◀  ▶	インクジュウテン
	カラー : KCMYcmW
4. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、インクを充填するヘッドを表示させます。充填を行わないヘッドは「*」を表示させます。

▲  ▼	インクジュウテン
	カラー : *CMY***
5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	インクジュウテン
	ジュウテン カイシ : ent
6. 【ENTER】キーを押します。インク充填を開始します。

ENTER	** ジュウテンチュウ **
	**** -----
7. インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

メンテナンス	
インクジュウテン	<ent>
8. 【END】キーを2回押して、ローカルモードに戻します。

END	<<ローカル>>
	



D201573-12-02082007